

## 令和6年度 学校経営計画書

学校番号	85	学校名	静岡県立湖西高等学校	校長名	望月 俊和
------	----	-----	------------	-----	-------

### 1 スクール・ミッション

湖西市に密着した「グローバル・ハイスクール」として、湖西市・市内各学校・地元自治会・企業との広く強い連携による探究活動、各教科の授業と楽しい行事、充実した部活動を通して、様々な生徒一人ひとりの個性を伸ばし、自ら考え実践し、地域に貢献し、社会・産業を支える人材の育成を目指す。

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～湖西高校を卒業するとこのような人になっていることを約束します～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感が高く、一人ひとりが多様な個性に自信を持ち、それを生かし様々な分野で活躍する人</li> <li>・主体性があり、自ら考え実践し、困難な時も粘り強く乗り越え、それぞれの豊かな人生を切り拓く人</li> <li>・コミュニケーション力が高く、他者との協働を楽しみ、他者に貢献することを自らの喜びとする人</li> <li>・地域を愛し、社会・産業を支える中心的存在となり、表現力も豊かで、地域の良さを発信する人</li> <li>・柔軟性があり、新しい視点で地域の課題を発見して解決に取り組み、地域の未来を創造する人</li> </ul>	<p>～湖西高校ではこのような学びと教育活動を行います～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの心に寄り添いながら、自立した心の育成を図ります。</li> <li>・基本的な生活習慣を確立させ、健康な心身を育てます。</li> <li>・規範意識を高め、公共心と人のために行動できる心を育成します。</li> <li>・授業を中心に、確かな知識・技能を身につけ、思考力を高め、主体的に判断し、自ら表現できる力を育成します。</li> <li>・探究を中心に学びを深化し、教科横断的な授業を推進し、自ら学びに向かう姿勢と課題を発見解決する、社会で生き抜く力を育成します。</li> <li>・(授業、探究、行事、部活動等、全学校活動を通じて)広く地域と連携協働し、多様な人材とのふれあいや体験活動により、コミュニケーション力を高め、豊かな社会性・人間性を育成します。</li> <li>・一人ひとりの多様な進路希望を実現する手厚い進路指導、効果的な補習や個別指導、資格取得を促進します。</li> </ul>	<p>～湖西高校ではこのような生徒を募集します～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や希望を持ち、何事にもあきらめず積極的に粘り強く挑戦しようとする生徒</li> <li>・現状に満足せず、新たな学びや体験に興味を持ち、自らの個性を伸ばし成長しようとする生徒</li> <li>・規範意識があり、他者を尊重し、いじめや差別を許さず、弱い人に寄り添ってあげられる生徒</li> <li>・世代を超え、人とのコミュニケーションを大切にする生徒</li> <li>・地元を愛し、より広く深く知ろうとする探究心、貢献していこうとする意欲のある生徒</li> </ul>

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 規範意識や基本的な生活習慣の確立(あたり前のことがあたり前にできる生徒の育成)
- イ 授業を基本とした確かな学力の育成(主体的な学びの支援と教職員研修)
- ウ 地域・社会のなかでの学びの推進と情報発信(地域・社会との協働、相互理解)
- エ 部活動、特別活動の活性化(文化活動・スポーツ活動等の充実・活性)
- オ 生徒個々の目標に応じた進路指導(進路希望実現に向けた支援体制の充実)
- カ 心身の健康増進と衛生環境づくり(個別支援、教育相談体制の充実と環境美化)
- キ 安心・安全な教育環境の整備(危機管理意識の向上と施設・設備の整備)
- ク 健全で活力のある教職員集団の育成(業務の改善と時間外勤務の削減)

3 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	全教育活動を通じて、安定的な生活リズムの確立を支援する。	初期指導、授業指導(チャイム前着席)、朝読書指導等により、規律ある学校生活を実現する。 定期的アンケートにより朝食の摂取状況を確認する。	「時間を守り、自立した生活ができている」と答える生徒が85%以上 「朝食を取っている」と答える生徒90%以上	生徒・保健 教務 学年
			「朝読書の時間、集中して読書に取り組んでいる」と答える生徒が85%以上	総務・図書
	カード(「がんばろう湖西!」)指導を活用し、全教職員一丸となった生活指導と公共心の育成を実践する。	初期指導、授業指導、校門・校外指導等を通じ、あいさつや身だしなみ等の基本的な生活習慣について、指導徹底する。 集会や外部の方の講話等を通じて公共心・マナーを高める。	「挨拶ができている」と答える生徒85%以上。「きちんとした身だしなみで生活している」と答える生徒95%以上 「マナーを守って登下校している」と答える生徒90%以上	生徒・保健 学年 総探地域室
イ	授業を大切にし、授業に集中して取り組む姿勢と、自ら学び、自ら考える力の育成を図る。	全教職員が校内研修等を通じて、生徒の学習意欲を引き出すための授業の改善と研究に努める。	「授業を集中して取り組んでいる」と答える生徒が95%以上	教務 生徒・保健
	授業等を通じて表現力の育成を図る。	新聞投稿・論文募集等への応募を実施する。 集会等、多人数の前で発表する機会を提供する。	「クラスを超えた人数の前で自分の意見を発表したことがある」生徒が40%以上	教務 学年 総探地域室
	教職員の指導力の向上に向け、校内研修の充実を図る。 (重点目標からは除外)	授業、進路、生徒指導力向上を図るための研修を行う。	校内研修年間3回以上の実施 研修終了後、「有益だった」と答える教職員100%	教務 進路 総務・図書
	生徒の学力向上に向けて、授業改善に取り組む。	体験活動や身近な問題を取り上げた授業を実施する。 ICT等を活用し、生徒が演習・復習を実施しやすい環境を整える。 授業アンケートや測定ツール等を活用して指導の検証・改善を図る。	「湖西高校の授業はわかりやすい」と答える生徒が90%以上	教務 情報管理室
ウ	地域・社会との連携・協働により学びの深化を図る。	湖西市、商工会、自治会、企業などの地域団体と連携し、体験活動と出前講座を中心に地域・社会について学ぶ機会を提供する。	外部講師による授業・講演年20回以上 「自らが地域に貢献する活動を行った」と答える生徒が75%以上	総探地域室 教務 生徒・保健 進路
	地域や保護者への広報活動の充実を図る。	保護者に対しては連絡ツール、中学生・地域にはSNSとHPを中心に情報を迅速に提供する。	「学校行事や進路状況等の情報がわかりやすく伝えられている」と答える保護者が85%以上	総務 広報室

様式第1号

エ	部活動、特別活動への取り組み意欲を高めるとともに、社会貢献活動の更なる推進を図る。	全教職員で、部活動への3年継続参加について指導するとともに、生徒会活動の活性化を図る。	「部活動、特別活動に意欲的・積極的に取り組んでいる」と答える生徒が 95%以上	生徒・保健
			部活動継続率2年生 95% 3年生 85%	
			部活動等による社会貢献活動 15回以上/年	
オ	生徒たちの多様な進路希望の実現を図る。	3年間を通しての指導計画の下、キャリアタイム(総合的な探究の時間)等を活用して、段階的な進路指導を行う。	進路希望実現 就職希望者:100% 進学希望者: 95%	進路 総探地域室
			課外補講、模擬試験、外部講師による講座等について、生徒のニーズ・実態に合わせて随時、見直し・修正を行う。	左記計画について、随時検証が行われている。必要があれば柔軟に修正が行われている。
カ	心身の健康増進といじめへの確実な対応	生徒の人間関係能力を高める取り組みを充実させる。	『「いじめを許さない」という雰囲気がある」と答える生徒が 90%以上	生徒・保健 教育相談室
	心身の健康増進といじめへの確実な対応	気になる生徒についての情報を共有化し、組織的に支援する体制を作る。	「信頼して相談できる先生がいる」と答える生徒が 90%以上	教育相談室
	学校内外の環境整備・美化を図る。	全員清掃を徹底する。	「清掃にきちんと取り組んでいる」と答える生徒が 95%以上	生徒・保健
キ	危機管理に関する校内体制の強化と地域防災に対する意識の高揚を図る。	生徒の交通安全、防災の意識を高めるため、街頭指導や訓練を定期的に行う。また、地域防災への参加を促す。	校内外の安全指導1回/週 月1回の安全点検	生徒・保健
			「命や安全を守るための防災訓練等がきちんとされている」と答える生徒が 95%以上	総務・図書
	教育活動の活性化に向け、施設・設備の充実を図る。	不具合等の把握に努め、予算に応じた適切な優先順位付けの下、計画的な修繕を行う。	不具合箇所への迅速対処 100% R6年度 実施予定の修繕の実施・完了 80%	事務
ク	校内業務が、職員にとって過重な負担とならないよう、業務の見直しと改善を行う。	業務の在り方、見直しについて一人ひとりが意見を出し、全員で実践出来る体制を整備する。	業務の見直しについて一人一案の募集と全体での検討年1回以上	全職員
		教職員一人一人が業務の効率化を工夫し、時間外勤務の削減に努める。	定時退勤月1回、職員室平均施錠時間 20時	